

# 衆議院農林水産委員会ニュース

平成 20.4.2 第 169 回国会第 7 号

4 月 2 日、第 7 回の委員会が開かれました。

## 1 生糸の輸入に係る調整等に関する法律を廃止する法律案（内閣提出第 23 号）

- ・若林農林水産大臣から提案理由の説明を聴取しました。
- ・若林農林水産大臣に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・七条明君外 1 名（自民、公明）提出の修正案について、提出者七条明君（自民）から趣旨説明を聴取しました。
- ・修正案について採決を行った結果、全会一致をもって可決されました。  
（賛成 - 自民、民主、公明、社民）
- ・修正部分を除く原案について採決を行った結果、全会一致をもって可決され、本案は修正議決すべきものと決しました。  
（賛成 - 自民、民主、公明、社民）

（質疑者及び主な質疑内容）

### 細野 豪志君（民主）

- ・一般の法律の廃止により生糸の輸入の仕組みが変わるが、実需者以外の輸入について、引き続き、高い関税を課す理由は何か。
- ・平成 19 年度補正予算により設置した蚕糸・絹業提携支

援緊急対策基金について、活用方策と事業実施主体はどのようなものか。

- ・公務員退職後の関係団体への再就職について、数次にわたるものは規制すべきと考えるが、農林水産大臣はどのように考えているか。

## 2 農林水産関係の基本施策に関する件

- ・参考人から意見を聴取することに協議決定しました。
- ・若林農林水産大臣、今村農林水産副大臣、政府参考人及び会計検査院当局並びに参考人に対し質疑を行いました。  
（参考人）全国農業協同組合中央会常務理事 富士重夫君  
全国農業協同組合連合会常務理事 米本博一君

（質疑者及び主な質疑内容）

### 稲田 朋美君（自民）

- ・間伐促進に向けて具体的・抜本的対策を講ずるべきと考えるが、「森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法案」を含めて、政府の取組方針はどのようなものか。
- ・米緊急対策において、全国農業協同組合連合会（全農）による 10 万トンの飼料米処理が盛り込まれた経緯と考え方はどのようなものか。
- ・地域水田農業活性化緊急対策は、生産調整に非協力的な農業者の取組に重点が置かれているが、協力的な農業者に対する支援対策についても充実させるべきではないか。

るが、外務省としてどのように考えているのか。

- ・大西洋まぐろ類保存国際委員会及び全米熱帯まぐろ類委員会の年次会合における課題について、どのような合意を目指すつもりか。
- ・水産業・漁村による多面的機能の維持のため、「農地・水・環境保全向上対策」の漁業版の創設や離島漁業再生交付金の半島地域への適用拡大が必要ではないか。

### 筒井 信隆君（民主）

- ・反捕鯨団体シーシェパードの調査捕鯨への妨害活動について、政府として「テロ行為・犯罪行為」と認識しているのか。
- ・シーシェパードによる犯罪行為について、告発しない理由は何か。また、調査船へ侵入した活動家を逮捕しなかった理由は何か。

### 西 博義君（公明）

- ・調査捕鯨への妨害行為による人的・物的損害に対する法的措置について、関係者に情報提供していくべきと考え

- ・政府が34万トンの米を買い入れ、備蓄米の市場への放出を当面抑制することにより、米の需給が均衡するという判断をしたのであれば、10万トンの飼料米処理は不要だったのではないかと。

### 松野 頼久君(民主)

- ・国内で発生した牛海綿状脳症(BSE)の感染経路について、第154回国会において武部農林水産大臣(当時)は「迷宮入りさせない」との答弁をしているが、解明はできたのか。
- ・と畜場における20ヵ月齢以下の牛の全頭検査について、国庫補助制度の廃止後に都道府県の判断で独自の検査を継続することに対して、農林水産大臣はどのように考えているのか。
- ・高病原性鳥インフルエンザ発生への対応として殺処分だけでなく、鳥インフルエンザワクチンの接種を認めるべきではないか。

### 神風 英男君(民主)

- ・中国産冷凍食品による薬物中毒事案及びその他残留農薬を検出した事案について、原因の究明はどこまで進んでいるのか。
- ・米国における需要が見込まれる和牛について、全農として輸出の促進にどのように取り組んでいくつもりなのか。
- ・国営土地改良事業の事業実績に係る調査の進捗状況はど

うなっているのか。

### 石川 知裕君(民主)

- ・昨年、ウナギ加工品の産地偽装の疑いによりJAS法に基づく立入調査を行った件数はどのくらいか。また、指導・公表等を受けた事業者による自主的回収、不当利得の剥奪が行われた例はあるか。
- ・業者間取引にJAS法を適用する告示改正により、食品偽装に対する取締りが強化されると考えているのか。
- ・強い水産業づくり交付金を活用して整備された熊本県内のウナギ養殖施設について、運営実態から見て補助事業の目的に合致していないのではないかと。

### 菅野 哲雄君(社民)

- ・平成19年産米の過剰作付けの状況を踏まえ、行政が関与しない米の生産調整の実効性についてどう考えるのか。
- ・国内の米の流通量における全農の集荷率及びその向上にどのように取り組むつもりか。
- ・全国米穀取引・価格形成センターにおける取引量が低迷していることについて、農林水産省は、今後どのように対応するのか。

### 3 南極海鯨類捕獲調査事業への妨害活動に対する非難及び調査事業の継続実施等に関する件

- ・「南極海鯨類捕獲調査事業への妨害活動に対する非難及び調査事業の継続実施等に関する件」について、宮腰委員長から決議案が提出され、趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを委員会の決議とすることに決しました。(賛成 自民、民主、公明、社民)
- ・若林農林水産大臣から発言がありました。

### 4 農業者戸別所得補償法案(参議院提出、第168回国会参法第6号)

- ・提案理由の説明を省略することに協議決定しました。
- ・参考人から意見を聴取することに協議決定しました。